

改訂新版「老いること、死ぬこと」

著者：鍋谷堯璽・森優

1. この本を読むにあたって

著者：鍋谷堯璽 (なべたに・ぎょうじ)

1930年、兵庫県出身。慶應義塾大学、神戸ルーテル神学校、ウエストミンスター神学校、コンコーディア神学校4に学ぶ。進学博士。

現在、神戸ルーテル神学校教授、神戸国際大学名誉教授、三宮キリスト教会牧師、神戸ゴスペルキリスト教会名誉牧師、日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事、神戸バイブル・ハウス理事。

森優 (もり・まさる)

1935年、福岡県出身。日本ルーテル神学校卒業。

1971～72年、アメリカおよびドイツにおいて、キリスト教出版マネージメントを学ぶ。いくつかの教会の牧会、幼稚園長、保育園長の職を携わり、株式会社聖文舎社長、北海道キリスト教書店、名古屋聖文舎などの社長も務める。その間、世界ルーテル連盟マスメディア研究所（本部ジュネーブ）東京支局主事などを歴任。2004～06年、ドイツ・ウィッテンベルク市ルター・ツェントラム客員研究員。日本ハンドベル連盟の創設（1976年）にかかわり、事務局長、常務理事、第14回世界大会（2010年、大阪）の準備委員（総務担当）などを務める。現在、無牧の日本福音ルーテル松山キリスト教会に牧師として協力中。

カルフォルニア神学大学院日本校教授、副学長、クロスウェイズ聖書研究会日本代表。進学博士、哲学博士。

出版社：いのちのことば社

出版年：2011年5月

本の要点：

かつてない高齢化社会の中で、「老い」をどう生き、「死」にどう向かい合うか、1995年に初版「老いと死を考える」が出版されてから三版を重ね、2003年に改訂版「老いること、死ぬこと」と題して出版された。本書は全面改訂し、老いと死に変わることはない聖書の光を当てて、鍋谷堯璽と森優が相談しつつ新しく書き下ろしたものである。日本人の老年観、死生観などを分析し、事例などを参考に、充実した生き方、さらには天国への希望を聖書の視点から語る。

本の内容：

第1部 老いること

1. 老いを長寿に
長寿者のモデルからインスピレーションを受ける一日野原重明さん／柴田トヨさん／ヘルマン・ホイヴェルスさん／アウグスティヌス
2. 日本の高齢者社会の特徴
日本の直面する三つの問題／多子化時代にも高齢化はすすむ／高齢化率の急激なアップ／高齢者問題に国も対策をしかけてきたが
3. 視点を定める
グローバリゼーションの影響／日本の老人福祉の流れ／日本が老いてきた／高齢者を取り巻く環境の変化を直視しよう／老いの管理化／介護保険について／高齢者世帯の経済状況／長寿の恵みに感謝
4. 高齢化の身体的諸問題
高齢者の健康と老化現象／脳の老化と脳細胞／長寿人生の秘訣／「度忘れ」と「認知症」の違い／高齢者を取り巻く環境と動向
5. 高齢者の社会的孤立と地域社会
居場所をつくる／福祉をとおして福音を分かち合う(中原キリスト教会)／「市民社会」として社会に奉仕する(西大寺キリスト教会)／スカサ(あなたの家)／男性介護者のためのほっこり庵
6. 再婚の祝福
妻が先立つこと／再婚についての指針を聖書に見る／妻の死の悲しみを乗り越えた後に／よきパートナーの必要
7. ライフサイクル
人生の行程表／人生の旅／タルムードと孔子／四住期にみるライフサイクル／老いることの意味を問いなおすとき
8. 日本人と老い
9. 聖書から見た「老いること」
老いの特徴／旧約聖書における寿命／旧約聖書のライフサイクル／老いの美点／共同体の中で／老いと若さの事例／生死の間で／新約聖書における老い／神に望みをおく一生理法則の逆転

第2部 死ぬこと

1. 創造の秩序の中での死
姉の死、友人の死／創造の秩序の下での死／神から切り離された死／イエス・キリストの死／わたしの死／噴水の水の一滴にも意味がある／キリストを通して死を考えること／死の向こうを考える
2. 死ぬことの身体的側面
現代の三大死因／死んでいくプロセス／寿命といのち／がんというもの／延命治療と告知／死の受容／死の兆候

3. 死の判定について
脳死と臓器提供
4. 若者は死をどのように受け止めているか
5. 人は死に臨んで何を考える
死の恐怖／事故死の場合
6. 死ぬことのモデルはあるか
速水優さん／隅谷喜男さん／遠藤周作さん／石原謙さん／鈴木清さん
7. キリスト教の葬儀について
葬儀の実際／キリスト教葬儀の特徴一声を届かせる／弟、三明の葬儀におけるメッセージ—聖書・詩篇九〇篇／一年後の記念会
8. 墓について考える
墓が語りかける／聖書と墓／現代日本の墓の問題
9. 日本人の死生観
日本人の古来の死生観／タブー視された死の時代／般若心経
10. キリスト教の死生観
ルターの死／アウグスティヌスの死生観／ルターの死生観
11. 聖書は死ぬことについてどうか
旧約聖書における死／恐れと死の様相／日常性から引き出される／自己とのかかわり／隣人とのかかわり／被造世界とのかかわり／神とのかかわり／新約聖書における死／天の故郷

2. 確認コーナー

分かち合いましょう。

第1部 老いること

1～3

- ① 長寿者モデルケースを読んで感想を分かち合いましょう。
- ② 日本の高齢者社会の現状を知り、問題点を話し合いましょう。
- ③ 高齢化の波の中でどこに視点を定めたらよいのか話し合いましょう。

4～5

- ④ 高齢者の身体的諸問題について話し合い自分がやっていきたい長寿人生の秘訣をお互いにあげて分かち合いましょう。
- ⑤ あなたの教会でおひとり暮らしの高齢者にしていること、あるいは今後取り組めることをあげ、どう実践していくことができるかその可能性を探り、話し合いましょう。

6～9

- ⑥ あなたの周りにいる再婚の祝福の例をあげ分かち合いましょう。
- ⑦ 自分の人生全体の中の「老い」の位置づけを問い直し、ライフサイクルを考え分かち合いましょう。
- ⑧ ⑨日本人の「老い」の考え方と聖書から見た「老いること」の違いを確認し、私たちが目指す「老い」について話し合いましょう。

第2部 死ぬこと

1～3

- ① 神の創造の秩序に従う死と神から切り離された死の事例をあげて、キリストを通して死を考えることができる恵みと死の向うを考えて生きることのできる希望を分かち合いましょう。
- ② 死の現実を確認し、どのような最期を迎えたいか分かち合いましょう。
- ③ 死の判定と臓器移植についてお互いに分かち合い、どのような備えができるか話し合いましょう。

4～6

- ④ 若い人たちに対して、すべての人に訪れる「死ぬこと」への備えについてどのようなアプローチができるか話し合い、分かち合いましょう。
- ⑤ 人が死に臨んで何を考えるか、あなたの周りにある事例があれば、分かち合いましょう。
- ⑥ 死ぬことのモデルを読んだ感想を分かち合いましょう。また、身近な例がある人は分かち合いましょう。

7～8

- ⑦ キリスト教の葬儀の意味を確認し、実際の事例や式次第を研究し、今後どのようなキリスト教葬儀を目指すことができるか話し合いましょう。
- ⑧ 現代日本のお墓事情を確認し、今後教会がどのようなお墓を対社会に備えていくことができるか話し合いましょう。

9～11

- ⑨ ⑩日本人の死生観とキリスト教の死生観を比べ、私たちクリスチャンに与えられている神の恩寵、神の祝福を確認し、この、恵みのキリスト教の死生観をどのように伝えて言うことができるか考え、話し合いましょう。
- ⑪ 私たちが人生の最後がいかなるものであれ、天に故郷を持つものとして死ぬ者であることを学んで、今後どのように自分の老いを生き、自分の死を生きることができるか、分かち合いましょう。